

Q 2. 30年後、地域に一番必要な医療サービスは何だと思いますか？

現在の診療科目

在宅医療、
通院手段：



現在、診療科目はどれくらいあるのか？今後、診療科目を増やすことはできないのか？週に1回でも小児科医に来てもらいたい。

常勤医で内科や神経内科、外科など5科。非常勤の医師が対応する整形外科、眼科、循環器内科など8科。現在、常勤医師が7名のため、新たな診療科目は難しい。

- 在宅医療（できるだけ長く自宅で過ごしたい）
- 週に1回でも小児科医が来てほしい
- 地域内での支えあい（お互い見守り）
- 通院手段の充実（運転できなくなると不安）
- 近くに子どもがいないので介護サービスの充実
- 診療科目の充実を図ってほしい

Q 3. 将来、介護を受ける状態になったとき一番心配なことは？

- 町内に病院が存在し、医療サービスが受けられるか
 - 通院手段があるか（運転ができなくなる）
 - 介護施設に入れるか不安
 - 親が運転できなくなると通院支援が必要
 - 家族（子どもに）に頼れるか心配
 - 病院建設費用の負担
（医療費が上がると経済的に不安）
- 通院する交通手段への不安
- 運転ができなくなると通院手段が不安。自宅がバス停まで遠く、便も少ない。年金生活になるとタクシー代などの経費も負担になる。病院までの通院手段も併せて検討していく必要があるのでは。親の通院に仕事を休むことも多いので、通院支援があればいい。

Q 4. 次回以降の座談会の進め方や知りたい情報は？

- 医師会立病院の基金積み立ては？
 - 建設にふるさと納税は活用できないのか？
 - 町民の参加が少ないので情報発信が必要
 - 現在、年間の修繕料はどれくらい？
 - 今後の財政負担は？（10年後、20年後）
 - 地域医療支援病院を知ってもらう必要がある
 - 病院施設の現状（老朽化）を知りたい
- 病院の修繕費用は毎年どれくらい？
- 築35年だが、毎年どれくらい修繕費がかかっているのか。建替える必要があるのか。
- 平成27年から4年間で1億1千万円を超える修繕費がかかっている。特に空調やボイラー、配管などの修繕が大きい。今後も修繕箇所が多い。



会場で出されたご意見は町ホームページでご覧いただけます。

- 日時：12月8日（土）
13時30分から
- 場所：肝属郡医師会立病院
（1階正面玄関ロビー）
- 備考：必ずマスクを着用

医師会立病院
見学ツアーを開催

肝属郡医師会立病院は建築後約35年が経過し、施設の老朽化が問題となっています。そこで、施設の現状を知ってもらうために病院見学ツアーを次の日程で開催します。

病院のいまを見に行こう！

